



## 誰かがあなたを あなたが誰かを 今日を支える力になる

## 参加者の声

自分のことを知る・・・  
とても痛い言葉です。  
優しい人間になりたい  
です〔50代女性〕

自立すること。人のせい  
にしない。私もそんな  
女性になるよう努力  
したい〔20代女性〕



平成27年6月27日(土)に「古賀市男女共同参画のつどい」でP&Cプランニング(株)代表取締役上田あい子さんによる講演「自分ブランドで生きる！」を行いました。自分ブランドで生きる(自

分らしく生きる)ための3つのヒントをご自身が立ち上げたNPO法人ウィッグ・リング・ジャパンの活動(抗がん剤の副作用で髪の毛が抜けた女性にかつらをレンタルする)などを紹介しながら、説明していただきました。参加者にもお互いインタビューを実践してもらい、自分を表現することの楽しさと難しさを体験してもらいました。最後に、自分の強みを知り、「一隅を照らす」という言葉に例えて、自分の光をみんなに分け与え、自分の光が足りないときは、周りから少し分けてもらい、みんなで社会を照らしていくような世の中にしていきたいと、目を輝かせてお話されました。

## 心癒される珠玉のメロディと輝き☆KOGAびと

## 古賀市男女共同参画のつどい



普段はオルガンの音とともにキリスト教の講義がされる場所、福岡女学院看護大学大講義室が、すがすがしい歌声とギターの美しい音色に包まれました。古賀市を中心に活動している、Natural Oneによるミニコンサートは、参加者の心を和ませました。

第1回古賀市男女共同参画表彰「輝き☆KOGAびと」では、古賀市で男女共同参画を実践している企業・団体・個人を表彰しました。左から企業賞：遠賀信用金庫古賀支店(支店長 徳田克彰さん)、団体賞：農業女性活動促進事業推進協議会(会長 安武布起さん)、個人賞：富森祐輔さん(花見光保育園 保育士)



## 男女共同参画に関する「一行詩」最優秀作品



最優秀作品賞受賞者と市長

- ◆ 小学校低学年部門  
男の子のいろ、女の子のいろ、  
そんなのないよ。みんなじゆうだよ。  
池田 雅さん〔古賀東小〕
- ◆ 小学校高学年部門  
この言葉あなたは言っていないせんか。  
「だって女子やけん」「男子なのに」  
丸山 倅奈さん〔古賀西小〕
- ◆ 中学校部門  
男だから、女だからの  
「だから」の壁を、なくそうよ  
坂本 大知さん〔古賀北中〕
- ◆ 高等学校部門  
男性も女性も夢を追いかければ  
叶えられるよ  
堀川 敦貴さん〔特別支援学校高校高等部〕
- ◆ 仕事も家事も両方できる  
そんな父は私の誇り  
西津 あん乃さん〔古賀竟成館高〕
- ◆ 一般部門  
はっとする、貴男の意見に気づかされ  
視点の違いは職場の宝  
矢野 富美さん  
〔訪問看護ステーション「こが」〕  
所属は平成27年3月現在

## 第二の人生には「キョウヨウ」が必要

平成27年9月4日開催の「社会に参画して、健康寿命を伸ばそう」では、二部構成で、第1部は講演でした。

講師の三浦清一郎先生の歯に衣を着せぬご講演は、私の安穩とした老後観に一撃をくらわせました。

「今日行くところがあって、今日用があるのが老人に必要なキョウヨウだ。」「司令塔である脳を死ぬまで壊さないように、読み書きして考えて、戦い抜いて、人間らしく生きなさい。」「縁側でお茶をすする幸福な老人像は、日本文化が生んだ虚像であり、退職後の生活は淋しくて切ないのです。」と先生は自らの体験を交えて老後人生の実態を正直に話して下さいました。

誰もが平等に迎える老いをどう受け入れ、どう乗り越えていくのかは、地域社会に一つの答えがあるようでした。古賀市のセミナーに参加する為に、服を着替え、身だしなみを整え、会場に足を運ぶ、これが第一歩。近所の人と会う、言葉をかける、ためになる話を聞いて考える、様々な第二歩。

中村市長も駆けつけ、先生のお話を熱心に聞いておられました。  
(男女共同参画啓発推進委員 江口真由美)



ユーモアたっぷりに講演する三浦清一郎さん

## 早速なにか始めてみよう！

第二部では、7団体が活動紹介とPRをして下さいました。①文化協会、②囲碁同好会、③軽スポーツ協会、④歩いてんDo好会、⑤ぐりんぐりん古賀(ほたるの会)、⑥たけのこ文庫、⑦かたろう会～井戸端会議～の皆さんが生き生きと楽しそうな内容を紹介され、多くの方が興味深そうに説明を受けておられました。

三浦清一郎先生のお話を聞いた後でもあり、何か始めてみよう！という意気込みが感じられ、問題提起のみに終わらず、足がかりを見つけることの出来る大変意義あるセミナーでした。

(男女共同参画啓発推進委員 飯尾みどり)



### 参加者の声

80歳を目前に身につまされるお話でした。しっかり自覚して生活して行こうと思います。

(70代 男性)



みなさんも社会や地域に参画して健康寿命を伸ばしましょう！  
団体の紹介等は、男女共同参画係にもあります。

## あなたは 古賀市民として 何を大切にしていますか

### 参加者の声

古賀市をよくしたいと思う方々がたくさん居られた事の確認と交流のきっかけづくりとなりました。

〔60代 男性〕

色々とすばらしい方と知り合えてよかった。

〔40代 女性〕



鮫島宗哉氏とワールドカフェの様子

平成27年10月30日に、「輝け！KOGA☆サミット2015」と題し、その第1回サミットが開催されました。

講師に元アナウンサーでマーケティングアドバイザーの鮫島宗哉氏を迎え、様々な委員会、審議会、役員、団体、ALT(外国語指導助手)そして市民の皆さんで34名(女性22名、男性12名)の方々がワールドカフェでまずは知り合うことから始まりました。

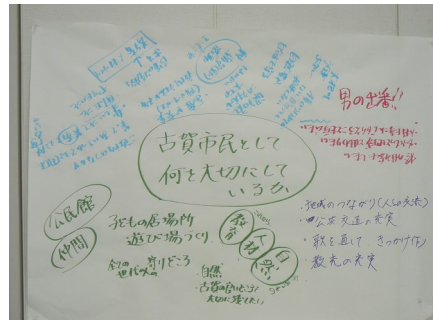


イバンさん(ALT)と話し合うテーブル

ワールドカフェ:カフェにいるような雰囲気、少人数に分かれたテーブルで事由に意見を出し合うこと

唯一のルールは、テーマについて人の言ったことは否定しないこと。それもあってか自己紹介のあとは、日頃の想いをどんどんお話しされていました。始めの緊張はどこへやら、

①「古賀市民として何を大切にしていますか」のテーマでは、仲間、地域とのつながり、自然環境、子どもたち、自分たちでまちをつくるという意識、等々話が止まらなくなるくらいに・・・。



②「古賀市の誇れるもの(すごい・すばらしい)は何ですか」のテーマでは、大根川、ウナギ、ほたる、仲間、コンパクトさ、自然、温泉、便利さ、そのほかたくさん。皆さんが心から古賀のことを好きで、どうしたらみんなの古賀を楽しく暮らしやすいまちにできるんだろうかと日々考えているんだと思える有意義な時間でした。それぞれが、出会えて良かったと挨拶合っている姿は古賀の未来の希望だと感じました。

(男女共同参画啓発推進委員

小田邊 美香)

## 朗読劇『みんなで△・二重丸』

古賀市男女共同参画啓発推進委員の面々に加え、会場からの参加で、というメンバーでしたが、初めてのユニットとは思えないほどの演技力と間合いで会場を魅了することができ(^\_^);、ただ参加するのではなく参画することの楽しさや意識を持つことの大切さを感じました。

(男女共同参画啓発推進委員

小田邊 美香)



男女共同参画朗読劇の様子

### 参加者の声

男女共同参画の演技がすばらしかったです。いつのまにか自分もその中に入っているような気がしましたよ。

〔50代 女性〕

劇をうちの地域でもしてほしいです。

〔30代 女性〕

あなたの地域でもこの朗読劇を上演します。

「古賀市まちづくり出前講座」のメニューNo.6で総務課地域コミュニティ室へお申込みください。

## 男性も女性も外国の人も笑顔で暮らすためには、古賀市には何が必要ですか

平成27年11月5日、前回に引き続き同じ鮫島宗哉さんのファシリテーションで、様々な委員会、審議会、役員、団体、ALT(外国語指導助手)そして市民の皆さんで第2回「輝け!KOGA☆サミット2015」が開催されました。今回は、古賀市長も参加されました。最初に、会場の全員と握手して、みんなで和んだところで、前回、大好評(自賛)だった男女共同参画朗読劇『みんなで△・二重丸』を再度上演しました。今回も啓発推進委員に加え、会場からの飛び入り参加者と一緒に楽しく演じました。「参加」と「参画」の違いが皆さんに面白おかしく印象づいていけば良いなと思いました。



ワールド・カフェの様子

ワールドカフェは、テーブルの移動が一回だったのが少し物足りませんでしたが、参加者のテーマへの視点がそれぞれに違い、問題の解決策の見出し方が様々な事を再認識できました。

古賀に住む外国人の人たちのお話を聞ける機会がもっとあっても良いですね。色々な価値観を認め合い、また、この土地(日本や古賀)の良さも活かしながら暮らせる街づくりを目指したいと思います。

(男女共同参画啓発推進委員 中園 よし恵)



中村市長も参加したテーブル

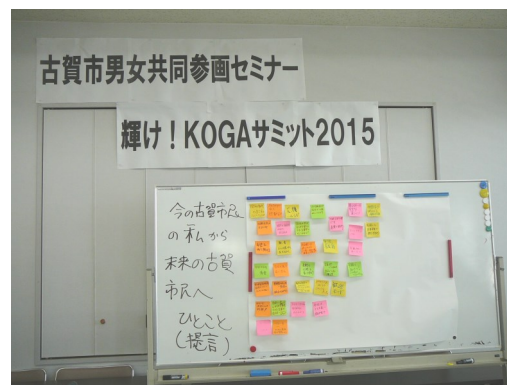
### 参加者の声

いろいろな角度からものが見えて、楽しかった。

〔50代 男性〕

1回目少しとまどいもありましたが、2回シリーズであることで顔見知り度が高くなり、よかったですと思います。

〔40代 女性〕



今の古賀市民の私から未来の古賀市民へひとこと

ファシリテーション:話し合いがスムーズに進むよう参加者の意見を引き出したり、整理したりして支援すること  
ワールドカフェ:カフェにいるような雰囲気、少人数に分かれたテーブルで自由に意見を出し合うこと

## ニッポンのココがヘンだよ! ココがすばらしいよ!

ワールドカフェのラウンドの間に、古賀市のALT(外国語指導助手)である2人のパネルディスカッションがありました。サラさん(アラスカ出身)はイバンさん(カナダ出身)が感じた、日本に住んでみての便利さや安全さを。そして、日本人のコミュニケーションの取り方が下手な所を、日本語を使って話していただきました。対外国人に限らず気をつけなければいけませんね。表現がむずかしいところ、一生懸命伝えようとしてくださり、ありがとうございました。

(男女共同参画啓発推進委員 中園 よし恵)



パネルディスカッションで話すサラさん(左)とイバンさん(右)

